

# サロンdeくじゅう

2014年5月～10月 サロン出演者(\*予定) \*変更することがあります。

## 第1回 くじゅう草原の歴史

5/25(日) 長者原ビジターセンター  
自然解説員 種村 英大



人の手の入ることで守られてきた、くじゅうの草原は、いつから、何のために維持されてきたのだろうか？人々の営みと自然のつながりを通して、草原の歴史をみつめます。

## 第2回 くじゅうの自然の中で、生命を担う

6/22(日) イーグルファーム(鷺頭牧場)  
3代目 鷺頭 将治



イーグルファーム(鷺頭牧場)の3代目。農家レストランで、自ら育てた豊後牛や、米、野菜を加工し、販売まで行う、次世代の農業を実践する、飯田高原の若き生産者。飯田高原の若者グループ tanar の中心人物。

## 第3回 「国立公園くじゅう」をふりかえる ～そのしくみとなりたち～

7/27(日) 環境省 くじゅう自然保護官事務所  
自然保護官 新田 一仁



阿蘇くじゅう国立公園くじゅう自然保護官事務所の23代目レンジャー。東京都出身。学生時代には森林の成り立ちと多様性を学び、人と自然をつなげる仕事がしたいと環境省のレンジャーへ。くじゅうの自然を守るため、日夜奔走している。

## 第4回 お天気からみる「くじゅう」のやさしさ・怖さ ～くじゅうの山岳気象～

8/24(日)  
気象予報士  
花宮 廣務



昭和42年大分地方気象台入庁。その後、九州各地の気象台で勤務。平成20年3月 大分地方気象台長を最後に定年退官。退官後は、気象台生活で学んだ経験・知識を社会に還元するために各地で、出前講座を実施中。

## 第5回 九重の昆虫

9/28(日) 九重ふるさと自然学校  
朝倉 和紀



福岡県出身。幼い頃から昆虫に興味を持ち、学生時代には昆虫生理生態学を学び、昆虫の光や温度への反応の研究を行っていた。現在は、九重ふるさと自然学校にて、昆虫の世界の素晴らしさについて、伝えている。

## 第6回 くじゅうの哺乳類

10/26(日) おおいた生物談話会  
森田 祐介



大分市出身。哺乳類の生態について、大変詳しく、レッドデータブックおおいた2011でも、調査員を務めた。現在は、社員の傍ら、モニタリングサイト1000久住地域の調査や、大分自然環境研究発表会の実行委員などを務めている。次代を担う若手。

場所：\*1 長者原ビジターセンター1階オープンスペース

時間：13:30～15:00 (申込不要 / 参加費無料)

\*1 主催者の都合により、日時と場所を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。